

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: モレキュラシーブス 3A 1/16

製品番号(SDS NO): 77125jis_J-1

供給者情報詳細

供給者: 純正化学株式会社

住所: 埼玉県越谷市大間野町1-6

担当部署: 品質保証部

電話番号: 048-986-6161

FAX: 048-989-2787

e-mail address: shiyaku-t@junsei.co.jp

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

発がん性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(吸入; 肺)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(呼吸器系、腎臓)

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

発がんのおそれ

呼吸器系の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :

混合物

化学的特定名 : 合成ゼオライトと粘土鉱物の焼成混合物(CAS NO.308080-99-1)。

成分名:二酸化けい素

含有量(%):<65

化学式:SiO₂

化審法番号:1-548

CAS No.:7631-86-9

MW:60.08

ECNO:231-545-4

成分名:酸化アルミニウム

含有量(%):<40

化学式:Al₂O₃

化審法番号:1-23

CAS No.:1344-28-1

MW:101.96

ECNO:215-691-6

成分名:酸化ナトリウム

含有量(%):<30

化学式:Na₂O

化審法番号:1-495

CAS No.:1313-59-3

MW:61.98

ECNO:215-208-9

成分名:酸化カリウム

含有量(%):<15

化学式:K₂O

化審法番号:9-2423

CAS No.:12136-45-7

MW:94.2

ECNO:235-227-6

成分名:酸化マグネシウム

含有量(%):<5

化学式:MgO

化審法番号:1-465

CAS No.:1309-48-4

MW:40.30

ECNO:215-171-9

成分名:ピロリン酸ナトリウム

含有量(%):<2

化学式:Na4O7P2
化審法番号:1-497
CAS No.:7722-88-5
MW:265.9
ECNO:231-767-1

成分名:セラミックファイバー
含有量(%):<2
CAS No.:142844-00-6

成分名:シリカ(石英)
含有量(%):<5
化学式:O2Si
化審法番号:1-548
CAS No.:14808-60-7
MW:60.08
ECNO:238-878-4

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。
この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。
耐熱手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(酸化アルミニウム)

日本産衛学会 第1種粉塵

吸入性粉塵0.5mg/m³

総粉塵2mg/m³

ACGIH(2007) TWA: (非溶性化合物) 1mg-Al/m³(R) (じん肺症、下気道刺激、神経毒)

(酸化ナトリウム; 酸化ナトリウム)

日本産衛学会 第3種粉塵

吸入性粉塵2mg/m³

総粉塵8mg/m³

(酸化マグネシウム)

日本産衛学会 第3種粉塵

吸入性粉塵2mg/m³

総粉塵8mg/m³

ACGIH(2000) TWA: 10mg/m³(I) (上気道刺激; 金属ヒューム熱)

(シリカ(石英))

ACGIH(2009) TWA: 0.025mg/m³(R) (肺繊維症; 肺がん)

OSHA-PEL

(酸化マグネシウム)

TWA 15mg/m³

(酸化アルミニウム)

TWA 5mg/m³

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

空気呼吸器(SCBA)を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状 : 粒状

色 : 茶色

臭い : 無臭

pH : 8~12 (10%懸濁液)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

引火点データなし

自然発火温度データなし

爆発特性データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

比重/密度 : 600~900g/l (かさ密度)

溶解度

水に対する溶解度 : 不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

重合暴走反応は生じない。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

水を吸着したとき、水の沸点まで温度が上昇するおそれがある。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

混触危険物質

高い吸着熱を持つ物質(炭化水素類、塩化水素など)

危険有害な分解生成物

りん酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ピロリン酸ナトリウム)

rat LD50=1000 mg/kg (ACGIH, 2001)

急性毒性(経口)

rat LD50 > 32000 mg/kg(Supplier's data/information)#

急性毒性(経皮)

rabbit LD50 > 2000 mg/kg(Supplier's data/information)#

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ピロリン酸ナトリウム)

ヒト:軽度から中等度の刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ピロリン酸ナトリウム)

ヒト:軽度から中等度の刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

催奇形性データなし

発がん性

(シリカ(石英))

IARC-Gr.1: ヒトに対して発がん性がある

ACGIH-A2(2009): ヒト発がん性の疑いがある

日本産衛学会-1: 人に発がん性があると判断できる物質

NTP-ヒト発がん性であることが知られている

(二酸化けい素)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(酸化アルミニウム)

ACGIH-A4(2007): ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化マグネシウム)

ACGIH-A4(2000): ヒト発がん性因子として分類できない

(セラミックファイバー)

EPA-グループB2; おそらくヒト発がん性(1986)

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(シリカ(石英))呼吸器系 (SITTIG 4th, 2002)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(酸化アルミニウム) 気道刺激性 (ICSC, 2000)

(ピロリン酸ナトリウム) 気道刺激性 (HSFS, 2001)

(セラミックファイバー) 気道刺激性 (ACGIH, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(酸化アルミニウム) 肺;吸入 (EHC, 1997)

(セラミックファイバー) 肺 (IARC 81, 2002)

(シリカ(石英))呼吸器系、腎臓 (ACGIH, 2005)

吸引性呼吸器有害性データなし

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

(#付データは類似品による試験結果です)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ピロリン酸ナトリウム)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=391mg/L/48hr (AQUIRE, 2003)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

粉じん障害防止規則(令19号)

シリカ(石英)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

ピロリン酸ナトリウム(区分内番号111); 酸化アルミニウム(区分内番号189); シリカ(石英)(区分内番号312);

二酸化けい素(区分内番号312)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

じん肺法

酸化アルミニウム; シリカ(石英); 二酸化けい素

水質汚濁防止法

指定物質

酸化アルミニウム

法令番号 44

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2014 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2014 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版,経済産業省)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。